取材のご案内

独立行政法人国際協力機構
国立大学法人秋田大学
2024 年 6 月 18 日

JICA・秋田大学が資源分野の連携協定を締結

開発途上国の持続的な鉱物資源開発や人材育成を通じ、脱炭素社会の実現や、鉱物資源の安定供給に貢献！

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）と、国立大学法人秋田大学（学長：南谷佳弘、本部所在地：秋田県秋田市手形学園町 1-1、以下：秋田大学）と資源分野の連携協定を締結します。

JICA と秋田大学は、2013 年 11 月に「資源分野の戦略的連携合意書」、2019 年 5 月に「資源分野等の連携協定」を結び、JICA が実施する技術協力プロジェクトや、資源分野における国際共同研究（SATREPS[1]）、開発途上国の行政関係者を対象とする本邦での研修、秋田大学に在籍する留学生に対する日本の開発経験に関する講義（JICA 開発大学院連携[2]）などで、お互いの強みを生かした協力を進めてきました。特に、2014 年から実施している資源分野の留学生受入事業「資源の絆プログラム」[3]では、これまでに受け入れた 200 名の約 30%にあたる 63 名が秋田大学で学んでいます。

このたび、JICA と秋田大学は更に 5 年間の連携協定を締結します。今後は、秋田大学で学び母国に帰国した元留学生を核として、国際的なネットワークの形成や、ネットワークを活かした共同事業の現地拠点形成などを進め、この分野での現地での協力強化をはかります。

【署名式開催概要】

- 日時：　7 月 3 日（水）10:00-11:00（連携協定署名式、取材対応を含む）
- 会場：　ANA クラウンプラザホテル秋田 4 階大ホール
  （〒010-0001 秋田県秋田市中通 2-6-1）
- 署名者：　JICA 理事長　田中 明彦、秋田大学学長　南谷 佳弘
- 参加方法：6 月 28 日（金）17 時までに下記 URL または QR コードからお申し込みください。
  https://forms.office.com/r/USdcyqiPHK

【当日のプログラム（予定)】

時間	内容
10:00-10:05	開会挨拶・出席者紹介（昌子(しょうじ)純子 秋田大学国際課長）
10:05-10:15	連携協定の趣旨説明（田中 啓生 JICA 社会基盤部長）
10:15-10:25	署名（JICA 田中理事長-秋田大南谷学長）
10:25-10:30	署名文書の交換・写真撮影
10:30-10:35	南谷 佳弘 秋田大学 学長挨拶
10:35-10:40	田中 明彦 JICA 理事長挨拶
10:40-11:00	署名式終了（11 時まで質問をお受けします）

■過去の連携合意書・協定の締結について（ニュースリリース）
初回：秋田大学と JICA が資源分野の戦略的連携合意書を締結 | JICA について - JICA
前回：秋田大学と JICA が資源分野の連携協定を締結-資源分野の人材育成に向けた協力強化 - | 2019 年度 | ニュースリリース | ニュース - JICA

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について
JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。詳しくは https://www.jica.go.jp/index.html をご覧ください。

■国立大学法人秋田大学について
秋田大学は、国際資源学部、教育文化学部、医学部、理工学部及び各研究科で構成される国立の総合大学です。独創的な成果を世界に発信しつつ、国内外の意欲的な若者を受け入れ、優れた人材を育成しています。
なお、国際資源学部は、資源の成り立ちや探査にはじまり、開発・生産を主な対象とする理工系分野と、資源保有国の政策・文化、経済など人文・社会科学分野を学べる特徴的な学部です。資源学を網羅的に教育研究する我が国唯一の文理融合学部として 2014 年 4 月に新設され、実践力を高め、即戦力として国際社会で活躍する資源のスペシャリストを養成しています。

【本件に関する問い合わせ先】	
◆JICA 事業について JICA 社会基盤部 松田、山本、西川 TEL：03-5226-8066 e-mail：imgne@jica.go.jp	◆当日の取材について 秋田大学 国際課 昌子、矢口 TEL：018-889-3212 e-mail：kokusai@jimu.akita-u.ac.jp

[1]地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS：Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development：SATREPS-サトレップス） は、外務省と文部科学省の支援のもと、科学技術外交の強化に資するものとして、JICA、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が連携して実施するものです。本プログラムは、開発途上国のニーズを基に国際共同研究を通じて、科学技術水準の向上につながる新たな知見や技術を獲得することや、これらを通じた地球規模課題の解決やイノベーションの創出、また、開発途上国の自立的研究開発能力の向上を目的としています。

[2] 「JICA 開発大学院連携」は、国内の大学と JICA が連携し、開発途上国から来日した人材が、大学の学位課程の中で専門分野の教育・研究に加え、日本の開発経験(日本の近代化の経験や戦後のドナーとしての知見)について英語で学ぶプログラムを提供するものです。途上国の人材が、体系的に日本を理解し、帰国後に母国の発展に効果的に役立ててもらうことを狙いとしています。さらには、彼らが母国で、知日派・親日派のトップリーダーとして活躍し、両国間関係が中長期的に維持・強化されることを期待するものです。

[3] 資源ポテンシャルを有する途上国の鉱業分野の行政官、教員、研究者を対象に日本の大学での長期研修を行ってきました。人材育成を通じて途上国の資源開発を促し経済開発に資するとともに、再生可能エネルギーや蓄電池等に不可欠な金属鉱物資源の生産国の多様化を図り、資源の安定供給を可能とすることを長期的な目標としています。